

手早くSaaS化 Webアプリ基盤を提供

手早くSaaS化

Webアプリ基盤を提供

サイバーク
テック

サイバークテックは、SaaS向けのWebアプリケーション基盤ソフトウェア「Web To X」を開発した。データの入力インターフェースとデータベース(DB)基盤部分をSaaS用にパッケージ化したため、手早く安価に既存のパッケージシステムやASPサービスのSaaS化を進めることができる。既に印刷業界向けのWeb入稿支援SaaSサービスに採用されている。年内にWeb To Xの提携企業を3社、年間売上げ5千万円を目指す。

Web To Xは、ユーザーインターフェース(UI)に、XMLと親和性の高いRIA(リッチ・インターネット・アプリケーション)技術であるアドビシステムズ社のFlexを採用したWebアプリケーションシステム。XMLDB「ネオコアXMS」を採用している。データの入力インターフェースとDB基盤部分をSaaS用にパッケージ化したため、手早く安価に既存のパッケージシステムやASPサービス

のSaaS化を進めることができる。管理者は、DB側の項目は全く意識せずに、ブラウザから変幻自在な入力フォームを作成できる。また、XMLDBに取込んだデータは、帳票やDTP、ワード、エクセルといった様々な形式に出力することが可能となるなど、様々な場面で利用が期待できる。従来のHTMLとRDBを組合せたWebアプリケーションは、UI作成に手間がかかる割りに、はデザインが貧弱で入力時に時間がかかっていたが、FlexとXMLDBを組合せたことで、操作性の高いUIを実現しながら、複雑な画面構成でも短期間に要件を確定できる。「コストを抑えながら短期間にS

aasシステムを構築できる」(橋元賢次社長)としている。

既に採用されているWeb入稿支援SaaSは、出力先としてアドビシステムズ社のDTPソフト「インデサイン」と自動組版ソフト「メタワークス」と連携したもので、ロココからサービス提供される。各種用途向けSaaSサービスの提供に向けて、今後各種ベンダー製品と連携していきたいと考えた。